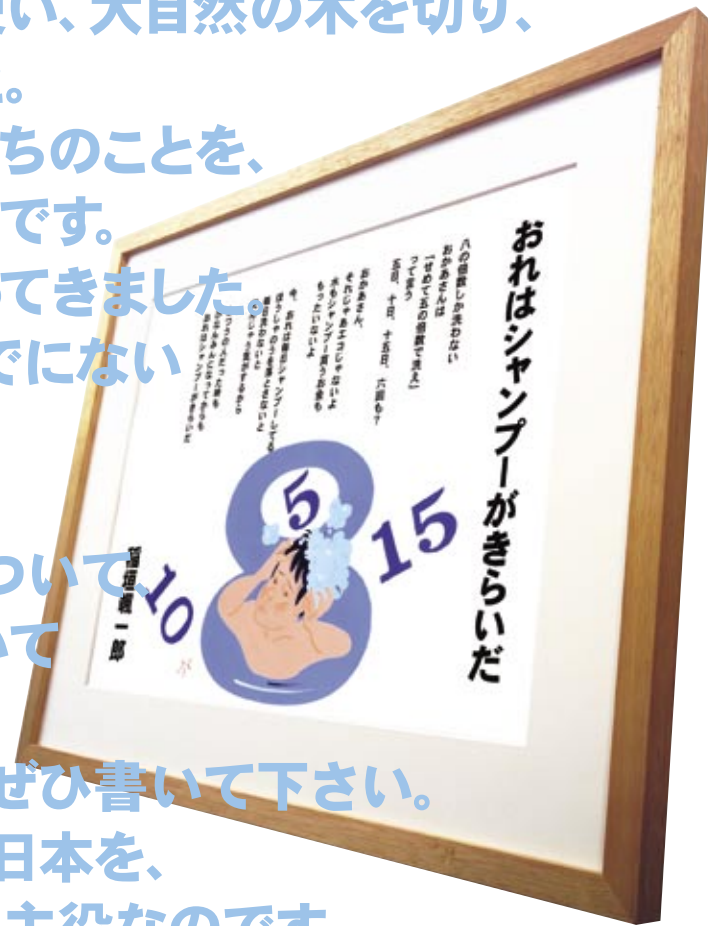


水は生命の源です。
人も海や川とともに生きてきました。しかし、
どれだけ科学が発達しても、海や川を支配できません。
エネルギーをたくさん使い、大自然の木を切り、
魚もいっぱい採りました。

いっしょに暮らす生物たちのことを、
あまり考えなかったようです。
大切な水も足りなくなってきました。
昨年、私たちは、これまでにない
自然の力と、水の怖さを
あらためて知りました。
その水の恵みや怖さについて、
そして命の大切さについて
考えましょう。
体験したことや、想いをぜひ書いて下さい。
みなさんが、これからの日本を、
さらに世界を築いていく主役なのです。



2011年ざぶん大賞のアート作品。
装画は西のぼるさん。

第11回ざぶん賞

2012年度 作品募集中。
中のページに文章を書いて応募できます。

水と命の大切さを考える、ざぶん賞は、おかげさまで11回目を迎えます。
決意を新たに、これからの日本についてしっかりと向き合い、微力ながら
力を注いでいきたいと思えます。 ●応募要項は裏面をご覧ください。

ざぶん賞2012(第11回) 小中学生の文章募集

●水に関するについて書いてください …募集内容

テーマ/生命の源である、水に関係した内容の作文・童話・詩・手紙。
たとえば、
・海や川、湖などについて、あなたの思ったり、感じたりしていること。
・水や命について、あなたが考えたり、願ったりしていること。
・水に関することで、あなたが経験した楽しかったこと、怖かったこと、など。
参加資格/小・中学生
作品/未発表作品で、なるべく1,200字以内に(上限は2,000字、
400字原稿用紙なら5枚まで、2枚以上の場合はステープラーでとめてください)

●濃い鉛筆で書いてください …応募のしかた

応募方法/一般の原稿用紙、またはA4用紙に、濃い鉛筆、ボールペンを使用。
題名、名前(ふりがなも)、学校名、学年、性別、連絡先住所(郵便番号も)、電話番号、
学校からの応募は、担当の先生のお名前を明記し、郵送または電子メールで。
(電子データで送られる場合は、原稿野線を用いないワード形式のデータを添付し、
件名を「ざぶん賞応募作品」として送付してください)
締め切り/2012年9月10日(月)必着
郵送/〒920-0362 石川県金沢市古府1-197
ざぶん賞実行委員会事務局まで
電子メール/info@zabun.jpまで



選ばれた作文を掲載
したざぶん庫。
アート作品が表紙の
カバーになります。

●全員にざぶん認定証を。 選ばれた文章はアート作品に

応募者全員に「ざぶん大使認定証」を発行。
選ばれた文章は各賞になり、画家の西のぼる氏、原田維夫氏、百鬼丸氏、蓬田やすひろ氏、
工芸作家の林香君氏、その他イラストレーターや工芸作家がアート作品に仕上げ、贈呈。
賞/ざぶん大賞、準大賞、環境賞、文化賞、特別賞など数点
文章選考/作家 安部龍太郎氏、森まゆみ氏
発表、表彰式/2012年11月予定



応募者全員に贈られる認定証。
それぞれの応募作品が編集され、挟み込まれています。

夏休みや授業のテーマで書かれた
作品も、学校でまとめていただき、
ご応募ください。
一人でも多くの皆さんからの作品を
お待ちしております。

ざぶん賞事業の主な委員・アーティスト

月尾嘉男
(つきおよしお)
ざぶん賞実行委員会会長
東京大学名誉教授・工学博士



安部龍太郎
(あべりゅうたろう)
選考委員長
作家



西のぼる
(にしのぼる)
画家



林香君
(はやしかく)
大学教授 陶芸作家



原田維夫
(はらだつなお)
版画家



百鬼丸
(ひゃっきまる)
切り絵クラフト作家



蓬田やすひろ
(よもぎだやすひろ)
画家



その他 応募の際に発生する諸経費は負担しません。発送いただいた書類はすべて返却しません。応募文章の不慮の破損や紛失における責任は負いません。
入選の告知は入選者のみにを行います。入選作品の出版権、および著作権は主催者に帰属します。応募要項は一部変更することがあります。

主催/ざぶん賞実行委員会(会長 月尾嘉男) 問合せ先 事務局 電話076-249-7353

後援/文部科学省、国土交通省、環境省、水産庁、海上保安庁、他全国の自治体や関係団体など(2011年度実績)

●ざぶん賞は、生命の源、水を通じて、命や自然の大切さを考えようというプロジェクトです。

<http://www.zabun.jp/>

